

三人が発病の恐れ

水俣病予知の毛髪検査

熊本県衛生部では水俣病患者の家族と漁民の毛髪検査を熊本医学部に委託していたが、二十八日水銀量からみて発病のおそれのある者が三人いたと発表した。この検査は毛髪のなかの水銀量をはかることで、水俣病が予知できるのではないかという意図で実施されたものの。

このうち三百PPM以上が三人（水俣、津奈木、御所浦各一人）いた。これについて県衛生部では、百PPM以上含まれていた者は有毒と考えられる魚貝類を今後食べないよう注意し、また三百PPM以上

の者は直ちに発病するとは断定できないが、発病のおそれがあると判断する有力な資料になるといっている。なお発病した患者の毛髪中の水銀量は四百ないし七百PPMだった。（注 一PPMは百万分の一）

調べたのは水俣市と津奈木の津奈木、湯浦、葦北、田浦の各町村および天草郡御所浦村の患者の家族や漁民二百十四人。この結果、毛髪一g中に百PPM以上の水銀が含まれていたのは全体の二割強にあたる二十四人で